

別紙

札幌市における主な文化芸術事業一覧（令和 5 年度（2023 年度）時点）

施策 1 - 1 多様な文化芸術に親しむ機会の提供（機会の充実）		
1	PMF (パシフィック・ ミュージック・ フェスティバル札幌)	札幌の中心部など、市民にとって身近な場所で、世界水準の優れた音楽を気軽に聞くことができるコンサートを開催し、市民の感性や創造性を育むとともに、にぎわいの創出を目指しています。
2	さっぽろ アートステージ	11 月を文化芸術月間と位置付け、文化芸術団体や民間企業、学校などと連携し、美術、演劇、音楽などのイベントを集中的に開催することにより、まちのいたるところに文化芸術によるにぎわいを創出します。「アートの入口」をコンセプトとし、誰でも表現活動を楽しんでもらえるような事業を目指しています。
3	サッポロ・ シティ・ジャズ	札幌独自の都市型ジャズフェスティバルとして、大通公園や芸術の森などでの野外ライブ、市内各所で行う市民参加型のライブなどに加え、道内他都市における小中学生向けのジャズワークショップなどの人材育成事業を行うとともに、今後も、地域の活性化及び札幌の魅力発信につながる事業を展開していきます。
4	札幌演劇シーズン	広く市民へ札幌で生まれた優れた演劇作品の鑑賞機会を提供することにより、演劇ファンのすそ野の拡大を図るため、夏と冬それぞれ約 1 か月にわたり、市内の複数会場で一定の評価を得た作品の再演を行っています。
5	札幌国際芸術祭 (SIAF)	既存の枠組に捉われず、時代の変化や技術革新、社会課題を踏まえながら新しい表現に挑戦をしている現代アートやメディアアートの分野において、世界で活躍するアーティストの作品に触れる機会を創出します。また、こうした作品に関心や親しみを持つことができるよう、象徴的でインパクトのある作品の展示や現代アートを学ぶプログラムなどの展開を図っていきます。
6	札幌交響楽団による 鑑賞機会の提供	音楽専用ホールである札幌コンサートホール（Kitara）での演奏会のほか、学校や福祉施設での演奏会や教育・地域活動にも注力している、道内唯一のプロオーケストラに対して引き続き支援を行い、優れた音楽の鑑賞機会を市民に提供します。
7	低料金コンサート	普段クラシック音楽を聴く機会の少ない方でも低料金で気軽に楽しめる内容のコンサートを開催し、オーケストラ鑑賞に興味を持つきっかけを提供します。
8	障がい者向け 文化芸術体験	障がいのある方の文化活動への参加を支援するため、文化芸術施設へ来館する機会が少ない障がいのある方に向けて音楽ワークショップを実施します。
9	カラフルブレイン札幌 2023	発達障がいがある方たちの作品展示とインタビュー、パネル展、パンフレットの配布等を通じて発達障がいの普及啓発・理解促進を図っています。
10	札幌市身体障害者福祉 センター指定管理事業 ・教養講習会 ・文化活動育成事業	身体に障がいのある方々に対し、その有する能力や適性に応じた事業（創作的活動や芸術・文化等教養講習会の実施、自主的に文化活動を行っているクラブ・サークルへ活動育成のための助成）により、障がい者の社会参加の促進を図っています。
11	札幌市視聴覚障がい者 文化・スポーツクラブ等 助成金	視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、サークル、団体の活動に要する経費の一部を助成しています。
12	公共施設 バリアフリー化 促進事業	既存の市有建築物のうち、バリアフリー基本構想 2022 で定めた重点整備地区内の官公庁施設等をはじめ、特別特定建築物（不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障がいのある方等が利用する建築物）のバリアフリー化を促進しています。

施策 1 - 2 文化芸術のための施設の活用等（機会の充実）		
1	文化芸術施設における取組の充実	鑑賞・発表・表現の場、市民とアーティストなどの交流の場、地域活動の場など、施設の特徴を生かした運営を行うとともに、それぞれの施設の専門性を連携させるなど、文化芸術施設全体の機能を有効に活用する取組を行っています。
	札幌芸術の森	豊かな自然環境の中で、音楽・舞台芸術、工芸などの創作・発表、野外美術館や屋内美術館での美術鑑賞など、多彩な文化芸術に触れる機会を市民に提供していくとともに、地域住民の活動拠点として、隣接する市立大学や地域団体との連携を深めていきます。
	札幌コンサートホール（Kitara）	音楽専用ホールとして、国内外のトップクラスの演奏家による質の高い音楽や、気軽に楽しめるワンコインコンサートなど、多くの方が音楽を楽しむ機会を提供しています。
	札幌市教育文化会館	教育文化会館が有する舞台機構を生かした作品を上演し、市民に伝統芸能を含む質の高い舞台芸術作品に触れる機会を提供するほか、子どもや初心者も参加できるセミナーやワークショップを行い、市民の学習や創造性を育む取組を進めています。
	札幌市民ギャラリー	より多くの市民に発表機会を提供することを念頭に置いた施設運営を行っていくほか、創成東地区の拠点施設として、地域住民との連携事業を行っています。
	本郷新記念札幌彫刻美術館	本市ゆかりの彫刻家である本郷新の顕彰、彫刻を中心とした美術の振興の場として、市民の貴重な文化資産である本郷新の作品・資料の展示・公開を行うとともに、幅広く創造性豊かな作家や作品に触れる機会を提供しています。
	札幌市民交流プラザ	高度な機能を有する劇場では、本格的な舞台芸術や多様なジャンルの公演鑑賞機会を提供するほか、札幌文化芸術交流センター（SCARTS）では、札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点として、文化芸術の普及・発信、調査研究、人材育成に取り組んでいます。また、図書・情報館においても、文化芸術関係の資料を配架するなど、連携、支援を積極的行います。
	旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）	重要文化財旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）の歴史的価値を末永く後世に伝えていくとともに、市民の貴重な財産として今後も公開活用していくため、庁舎の耐震補強・保存修理・活用整備等を行います。
	さっぽろ天神山アートスタジオ	アーティスト・イン・レジデンスの拠点として、市内及び国内外の個人・団体とのネットワークを構築し、アーティスト等創造的活動を行う人の滞在型制作活動を誘致し支援しています。アーティストの有意義な活動の実現と市民が新しい思考や感性を自ら育むことを目指し、アーティスト等の市内での滞在と制作段階を含む創造活動全般において市民との多様な交流を創出しています。なお、令和5年度行政評価において、「市民がメリットをより享受できる仕組みや施設の在り方も含めた見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
	あけぼのアート&コミュニティセンター	旧曙小学校跡施設を再整備し、文化芸術活動等を行う団体や個人への長期利用スペースとしているほか、図書室等を一般開放し、子どもや高齢者といった地域住民が利用できる施設として運営しています。
	ターミナルプラザことにパトス	地下鉄琴似駅構内に開設され、コンサートやイベントなどの各種催し物・展示会など、幅広い用途に利用できる施設として、多くの市民に利用されています。
	モエレ沼公園	モエレ沼公園においては、新進の現代美術作家による展覧会の開催及び市民団体と連携した文化事業を開催し、市民、観光目的の利用者に幅広く文化活動を提供する機会を設けています。

施策 1－2 文化芸術のための施設の活用等（機会の充実）		
2	公共空間の創造の場としての活用	札幌駅前通地下歩行空間や札幌市北 3 条広場における文化芸術イベントの開催や、地下歩行空間北 2 条広場メディア空間での市民やクリエイターによる映像作品の発表、地下鉄東西線コンコース（大通駅・バスセンター前駅間）における 500m美術館の運営など、公共空間を活用した取組を行っています。
	札幌駅前通地下広場	多目的に利用できる空間を提供し、にぎわいを創出することにより、集客交流の活性化、新たな産業の育成及び独自の文化の創造を図っています。
	地下歩行空間北 2 条広場	「創造都市さっぽろ」の発信の場と、メディアアーツ都市札幌にふさわしい「ICT 活用のショーケース」の 2 つの観点から、広場のにぎわいづくりを行っています。
	北 3 条広場	札幌の文化発信拠点の一つとして、空間特性にあったイベント等の開催を促進するなど、都心において、市民等に多様な活動や休憩・滞留ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造の促進を目指しています。
	500m美術館	公共空間の一つである地下鉄コンコース（大通・バスセンター前駅間）における展示空間として 500m 美術館の運営を行っています。 なお、令和 5 年度行政評価において、「本美術館のあるべき姿や目的を、市民に理解いただけるよう再設計した上で、その目的に即した施設用途となるよう、施設の在り方や予算の執行手法について見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
	メトロギャラリー	札幌市を舞台に活動するアーティスト等（個人・団体・プロ、アマ不問）、誰もが気軽に文化芸術作品を発表できる場として、地下鉄駅構内（10 駅）に作品展示スペースを設置し、年間約 60 名（団体）のアーティストによる作品展示を実施しています。
	駅の個性化プロジェクト	交通局では、『地下鉄の駅を単なる「通過点」とするのではなく、憩いや賑わいのある空間に活用していくことで、それぞれの駅の特徴を出しつつ、地域のまちづくりと地下鉄の利用促進につなげていくこと』を目的とした「駅の個性化プロジェクト」を平成 22 年度より実施しており、平成 28 年度に白石区市民部地域振興課と協力し、地下鉄東西線白石駅にタイルアートを設置するなど、地域団体の文化芸術発表の場として提供しています。
3	文化活動練習会場 学校開放事業	音楽、演劇などの文化芸術活動を行う市内のアマチュアグループや市民などに対して、小学校の音楽室などを開放し、練習会場や創作の場として提供しています。
4	文化芸術に関する生涯学習の推進	札幌市生涯学習センターや市民ホールは、多くの市民により、文化芸術に関わる学習成果の発表の場として活用されています。また、生涯学習センターを拠点として、市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会を提供する「さっぽろ市民カレッジ」を実施しており、市民自らの意思で新たな文化芸術を学び、創造することができるよう、生涯学習に関する取組を行っています。

施策 2－1 子どもたちの文化芸術活動の充実（未来への布石、育成、支援）		
1	Kitara ファースト・コンサート	豊かな感性や創造性を育むことを目的に、市内の全小学 6 年生を札幌コンサートホール（Kitara）に招待し、本格的なオーケストラ演奏を鑑賞する事業を教育委員会と連携して実施しています。これまでに延べ 20 万人を超える子どもたちが鑑賞しています。
2	子どものミュージカル等体験	本格的な舞台芸術の素晴らしさを感性豊かな子どもたちに体験してもらうため、市内やさっぽろ連携中枢都市圏の小学生にミュージカルや音楽劇等を鑑賞する機会を提供しています。

施策２－１ 子どもたちの文化芸術活動の充実（未来への布石、育成、支援）		
3	ハロー！ ミュージアム	小学５年生を対象に、芸術の森美術館等で、美術鑑賞マナーの学習機会や美術鑑賞・創作活動の体験機会を提供しています。
4	おとどけアート	市内の小学校にアーティストを一定期間派遣し、子どもたちがアーティストと関わることで多様な価値観に触れる機会を提供しています。
5	学校 DE カルチャー	各関係団体によるアウトリーチ活動をパッケージ化し、市内の全小学校から実施希望を募り、文化芸術体験を届けています。
6	人形劇、児童劇等の 制作・発表	子どもの情操面のかん養を図ることを目的に、人形劇・児童劇の鑑賞機会を提供するとともに、人形劇・児童劇の制作団体及び人材の育成に関する取組を通して、子ども自ら発表できる場を提供しています。
7	札幌市中学校文化連盟 (中文連)の 展示・発表支援	全国レベルで活躍する本市中学生の文化芸術活動の発展を支援していくため、中文連の演劇発表会には教育文化会館を、美術・書道展には市民ギャラリーを、音楽会には市民ホールを提供するなど、札幌の次世代の文化芸術活動を担う人材の育成支援に取り組んでいます。
8	PMF リンクアップ・ コンサート、 吹奏楽セミナー	小学生が事前に授業で学んだことを生かして、歌唱やリコーダー演奏で PMF オーケストラと共演する「リンクアップ・コンサート」や、PMF の教授を務める一流オーケストラの演奏家が中学校・高等学校の吹奏楽部などを対象にセミナーを実施するなど、PMF の質の高い音楽を札幌の子どもたちに提供しています。
9	子ども向け文化財 施設の利用促進	関連文化財群等の PR や構成文化財等の周遊促進子ども向けパンフレットの制作を行い、文化財施設等で配布しています。
10	縄文体験学習の実施	丘珠縄文遺跡体験学習館において縄文体験学習を実施し、札幌の縄文文化の魅力に触れる機会を子どもたちに提供しています。
11	小中高生に対する アイヌ文化の体験 プログラムの提供	札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、小学生から高校生までを対象として、展示品の解説のほか、アイヌ民族の伝統文化を体験するプログラムを提供します。また、来館が困難な学校に出向き、校内でアイヌ民族の文化体験を行うためのプログラムを提供しています。
12	文化部活動の 地域移行の検討	子どもたちが身近な地域で継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、文化部活動の地域移行について検討しています。
13	障がい者向け 文化芸術体験 【再掲】	障がいのある方の文化活動への参加を支援するため、文化芸術施設へ来館する機会が少ない障がいのある方に向けて音楽ワークショップを実施します。
14	さっぽろ アートステージ 【再掲】	11 月を文化芸術月間と位置付け、文化芸術団体や民間企業、学校などと連携し、美術、演劇、音楽などのイベントを集中的に開催することにより、まちのいたるところに文化芸術によるにぎわいを創出します。「アートの入口」をコンセプトとし、誰でも表現活動を楽しんでもらえるような事業を目指しています。
15	サッポロ・ シティ・ジャズ	小中学生を対象とする通年型ジャズスクールとして、「札幌ジュニアジャズスクール」を運営し、毎週土曜、日曜を中心とした定期練習のほか、市内外でのイベントや演奏会への出演、他地域のジャズスクールとの交流などを行っています。

施策２－２ 文化芸術を支える土壌づくり（未来への布石、育成、支援）		
1	アートマネジメント 機能の強化	アートマネジメント人材の能力向上とネットワーク形成を目的とした講座やワークショップを開催し、文化芸術活動の質の向上と活性化を図ります。
2	パブリックアートを 支える仕組みの整備	野外彫刻などのパブリックアート について、作品を良好な状態に保ち、鑑賞できるように、彫刻の補修を進めています。

施策 2-2 文化芸術を支える土壌づくり（未来への布石、育成、支援）		
3	アートボランティアへの支援・活動の場の提供	文化芸術に関するイベント、団体、施設等の趣旨に賛同して、魅力向上や運営の支援に関するボランティア活動を行う団体の情報提供を行うなど、自発的な活動を行う人の活動の輪を広げる取組を行っています。
	PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル 札幌)	コンサート会場の清掃、パンフレット配布などの開催支援のほか、世界各国から参加するアカデミー生に向けて能、着付け等の日本文化体験プログラムを実施するなど多くの方が従事くださっており、今後もこうした方々とともに質の高い取組につなげていきます。
	札幌芸術の森	ボランティアとして資料整理や野外美術館における作品解説などに多くの方が従事くださっており、適宜研修等を行うことでボランティアの資質を高め、より魅力ある施設を地域の皆様と共に作り上げていきます。
	サッポロ・シティ・ジャズ	多くのボランティアが「ジャズセーバーズ」として運営をサポートくださっており、今後もこうしたボランティアと連携した市民参加型の事業展開に努めていきます。
	札幌コンサートホール (Kitara)	Kitara に愛着をお持ちの多くの市民が館内案内や主催事業の補助に従事くださっており、これらの方々とともにこれからも魅力ある施設運営に取り組んでいきます。
	札幌交響楽団	札幌ボランティアの方々によるさまざまな楽団への支援活動に合わせて、本市でも同楽団への支援を継続することで、クラシック聴衆の裾野拡大や札幌ファンの育成につなげていきます。
	500m美術館	500m美術館の企画、制作等をサポートするボランティアチーム「500 メーターズ」を毎年度組織し運営していくことで、アートマネジメント人材の育成を行っています。
	札幌国際芸術祭 (SIAF)	芸術祭に対する関心や理解を高め、盛り上げていくために、ボランティアをはじめとする市民の自発的な活動が、さらに活発になるような環境づくりに取り組んでいます。
4	さっぽろ天神山アートスタジオ 【再掲】	アーティスト・イン・レジデンスの拠点として、市内及び国内外の個人・団体とのネットワークを構築し、アーティスト等創造的活動を行う人の滞在型制作活動を誘致し支援しています。アーティストの有意義な活動の実現と市民が新しい思考や感性を自ら育むことを目指し、アーティスト等の市内での滞在と制作段階を含む創造活動全般において市民との多様な交流を創出しています。なお、令和5年度行政評価において、「市民がメリットをより享受できる仕組みや施設の在り方も含めた見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
5	文化芸術分野に係る市民まちづくり活動への財政的支援	市民まちづくり活動の促進を目的に、市民まちづくり活動促進基金（さぽーとほっと基金）を設置しており、市民や企業等から寄附を募り、当該寄附を町内会・ボランティア団体・NPO などが行う市民まちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支える取組を行っています。 さぽーとほっと基金では、分野指定助成、テーマ指定助成、団体指定助成に分けて、助成を行っており、そのうち、分野指定助成の1つとして、「文化・スポーツ・観光・経済等の振興」という分野があり、市民まちづくり活動団体から当該分野に該当する事業を募集し、附属機関で審査の上、札幌市が助成決定しています。

施策2-2 文化芸術を支える土壌づくり（未来への布石、育成、支援）		
6	ふるさと納税制度の活用や遺贈寄附に関する広報など	ふるさと納税制度を活用した寄附の受付や近年相談が増えている遺贈寄附の相談に円滑に対応するために、日本相続知財センター札幌と協力協定を結ぶとともに、広報も行っています。

施策3-1 文化遺産・自然遺産の保存と活用（文化資源の保存・活用）		
1	（仮称）札幌自然史博物館整備の推進	札幌の自然史への興味・関心を促し、博物館整備を推進するため、博物館の基本的な活動（資料の収集保存、調査研究、普及交流）を実施するとともに、整備に関する調査検討を実施します。
2	文化財の保存と活用	文化財施設の適切な保存・活用のため、保全計画に基づく計画的な修繕を進めると同時に、施設の耐震化についても検討します。 文化財の総合的な保存・活用のための指針となる「札幌市文化財保存活用地域計画」に基づき、地域のまちづくりや観光、教育等の各分野で文化財を有効活用し、市内外の人々に対して札幌の新たな魅力を発信します。
3	埋蔵文化財の保存と活用	丘珠縄文遺跡を適切に保存し、地域の歴史資源、文化資源、教育資源として、市民とともに、その価値を将来へと伝えていきます。また、縄文体験活動や市民発掘を通して、札幌の縄文文化の魅力を発信しています。
4	無形文化財保存伝承	アイヌ民族の伝統行事であるアシリチェブノミ、市指定無形文化財である丘珠獅子舞の保存伝承事業に対する支援を行っています。
5	アイヌ文化の保存・継承・振興	アイヌ民族が伝統文化を継承するための仕組みの構築や、人材の育成に関わる活動への支援、伝統文化を体験する機会の創出などを通じ、アイヌ文化の保存・継承の推進やさらなる振興に向けて取り組んでいます。
6	景観資源の保全・活用	景観を特色付けている自然や建築物、工作物、生活習慣など、良好な景観を形成するための大切な景観資源を保全・活用するため、景観重要建造物等や札幌景観資産の指定のほか、景観上の価値の捉え方を拡大し、市民等に広く周知し、その活用を促進するために景観資源を登録する「活用促進景観資源」の制度の推進にも取り組んでいます。
7	伝統的な食文化の継承	学校、認可保育所等や各種の催し・地域の料理教室などを通じて、行事食、郷土料理、だしの文化、食事の作法等に関する情報提供、普及啓発を行い、伝統的な食文化の継承を図っています。

施策3-2 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信（文化資源の保存・活用）		
1	創造都市ネットワークを活用した国内外の都市との交流・情報発信	市民が多様な文化芸術に触れる機会を創出するとともに、本市の文化芸術を戦略的かつ積極的に情報発信し、具体的な連携を促進するため、「ユネスコ創造都市ネットワーク」や「創造都市ネットワーク日本」を活用して国内外の創造都市との交流を進めています。
2	さっぽろ雪まつり	世界的に有名な札幌を象徴する祭りであるさっぽろ雪まつりでは、芸術的な大小の雪氷像で雪と氷の祭典を展開し、札幌の魅力を発信しています。また、プロジェクトマッピングでアートに触れる機会を提供するとともに、AR等のICTを活用した雪とアートの融合により、さっぽろ雪まつりの魅力向上につなげていきます。
3	さっぽろホワイトイルミネーション	日本で最初のイルミネーションとして昭和56年から続く札幌の初冬を彩るさっぽろホワイトイルミネーションは、光の芸術として大小さまざまなシンボルオブジェを設置するほか、ICTなど先端技術を用いた体験型コンテンツを展開していきます。

施策3-2 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信（文化資源の保存・活用）		
4	アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進	民族共生象徴空間ウポポイと札幌市アイヌ文化交流センターを巡るツアー、大型イベントと連携した情報発信などにより、アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進に取り組んでいます。
5	PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル 札幌)	世界中から選抜された若手音楽家に対する一流の音楽教育の場として、世界有数の音響を誇る札幌コンサートホール（Kitara）や札幌芸術の森など札幌が誇る文化資源を活用するとともに、大通公園や藻岩山での演奏会など観光資源も積極的に活用することで、世界各国から参加するアカデミー生や教授陣、各地から来る観客を通じて、札幌の魅力と音楽文化に対する貢献を世界に発信します。
6	サッポロ・シティ・ジャズ	ジュニアジャズスクールによる国際交流や、海外ジャズフェスティバルへのコンテスト優勝者の派遣などといった海外プロモーション活動を通じて、参加者の中から国内外で広く活躍するアーティストが輩出されてきています。今後も様々な取組により、札幌の音楽文化の発展・発信に努めていきます。
7	札幌国際芸術祭（SIAF）	札幌の大きな特徴である寒冷な気候や雪、さらには北方圏の文化などを題材とした作品やプロジェクトを紹介するなど札幌の魅力を生かした独自性のあるプログラムを展開します。また、海外のディレクターやアーティストの招聘などにより、文化交流や情報発信などを含めた国際的な連携を高めていきます。
8	札幌交響楽団による鑑賞機会の提供	道内唯一のプロオーケストラの演奏を、国内外で評価の高い音楽専用ホールの札幌コンサートホール（Kitara）を拠点として楽しめることは、札幌のまちの魅力につながっています。同楽団の優れた演奏が多くの市民、観光客の方々に提供されるよう、活動を支援しています。
9	さっぽろ天神山アートスタジオ 【再掲】	アーティスト・イン・レジデンスの拠点として、市内及び国内外の個人・団体とのネットワークを構築し、アーティスト等創造的活動を行う人の滞在型制作活動を誘致し支援しています。アーティストの有意義な活動の実現と市民が新しい思考や感性を自ら育むことを目指し、アーティスト等の市内での滞在と制作段階を含む創造活動全般において市民との多様な交流を創出しています。なお、令和5年度行政評価において、「市民がメリットをより享受できる仕組みや施設の在り方も含めた見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。

施策4-1 文化芸術の創造性を生かした様々な分野との連携・活用（文化芸術の領域拡大）		
1	観光資源、科学技術と文化芸術の融合した取組の推進	豊富な観光資源、教育研究機関やICT関連の企業・人材の集積といった本市が有する強みに、文化芸術をはじめとする創造的な要素を加えた産学官の連携によるイベントの開催や、創造性の誘発にもつながる映像の力の活用を通じて、既存資源の魅力向上やまちのにぎわい創出、札幌の将来を担う人材の育成を図っています。
	NoMapsにおける取組	クリエイティブ産業の活性化や創業支援、新産業の創造、札幌・北海道の魅力向上などを目的とし、様々なイベントを通して、新しい価値観や文化、社会の姿を提案し、新たなビジネスを生み出す場を提供する「No Maps」の開催を支援しています。
	「札幌市映像活用推進プラン」における取組	札幌経済の活性化及び地域活性化を図るため、市内事業者や市民と協力・連携しながら、人材育成やコンテンツ開発支援、企業の映像活用促進などの施策を展開しています。
2	文化芸術を生かした地域活動の活性化	音楽や地域の伝統芸能など、地域における文化芸術を活用したイベントの開催、地域に滞在するアーティストとの交流など、文化芸術を生かして地域のにぎわいの創出・交流を促進し、まちの活性化を図る取組を行っています。

施策 4-1 文化芸術の創造性を生かした様々な分野との連携・活用（文化芸術の領域拡大）

さっぽろ 天神山 アートスタジオ 【再掲】	アーティスト・イン・レジデンスの拠点として、市内及び国内外の個人・団体とのネットワークを構築し、アーティスト等創造的活動を行う人の滞在型制作活動を誘致し支援しています。アーティストの有意義な活動の実現と市民が新しい思考や感性を自ら育むことを目指し、アーティスト等の市内での滞在と制作段階を含む創造活動全般において市民との多様な交流を創出しています。なお、令和5年度行政評価において、「市民がメリットをより享受できる仕組みや施設の在り方も含めた見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
北区 農村歌舞伎の 保存・伝承	北区の篠路地区及び新琴似地区で開拓期に演じられていた農村歌舞伎の保存伝承に取り組む地域団体の自主公演活動の支援や、区公式 HP への掲載による情報発信など歌舞伎文化の周知を行っています。
北区歴史と文化の 八十八選保存継承 事業	開拓期からの歴史を有する北区内には歴史的な建物や文化遺産が数多く残されており、このうち 88 か所を選び、案内板の設置やガイドマップの作成を行うことで広く紹介しています。
ぽっぴい フェスティバル 事業	区民同士の交流を促進するとともに、北区が育む歴史や文化の魅力を広く発信することを目的として、例年、百合が原公園において実施しているフェスティバルです。ステージ公演やワークショップ、物販、飲食店の出店などが行われます。
ひがしく ハッピー・タッピー コンサート	区民が気軽に生の音楽に触れられる機会を提供するため、奇数月の第3金曜日に区民センター大ホールでクラシック、ジャズ、ポップス、民謡等、様々なジャンルのコンサートを開催しています。年1～2回の休日開催や出張公演、カルチャーナイトとの連携（夜間開催）も行われています。
白石区 ふれあい バラコンサート	区民の芸術文化活動の振興を図ることを目的として平成6年度から実施しており、毎回区民約300人が訪れ、気軽に本格的な音楽に親しむことのできる機会として定着しています。平成12年度からは地域ボランティアで構成される「白石区民コンサート実行委員会」が企画・運営等を行っており、白石区との共催により実施しています。毎回区民約300人が訪れ、気軽に本格的な音楽に親しむことのできる機会として定着している事業となっています。
とよひら フラワー コンサート	区内の小・中・高校生、大学・一般団体など幅広い年代が出演する吹奏楽、合唱等のコンサート。 区民同士のふれあいや音楽振興、学校と地域の交流促進によるまちづくり活動の活性化を目的とし、カナモトホール（札幌市民ホール）で開催しています。
芸術・文化の振興 「きよフェス」	清田区ゆかりアーティストによる音楽ライブ。清田区の魅力として「食と音楽」を区内外に発信するため、既存事業である「きよたマルシェ」と同時に平成29年度から開催しています。
芸術・文化の振興 「区民コンサート」	清田区にゆかりのある演奏家が出演し、区内の施設で区民が音楽にふれる機会を提供しています。
芸術・文化の振興 PMF 清田区公演 「PMF アンサンブル 演奏会」	7月下旬の平日夜にPMFアカデミー生（又は修了生）によるアンサンブルコンサートを清田区民ホールで開催しています。
若者の芸術・文化 活動を通じた南区 まちづくり事業	若い世代が「芸術・アート」を切り口にまちづくり活動をする場を提供することで、若い世代がまちづくり活動へ参加し、地域資源を知り学ぶきっかけを作っています。

	西区 文化フェスタ	区民が気軽に芸術文化を鑑賞できる機会を提供し、芸術文化意識の醸成を図るとともに、地域の賑わい創出を目指しています。 区内の文化施設を会場に、毎年9月に約2週間にわたり、多様な文化芸術の公演を実施しています。
	こども・あーと・にしく	区内在住の小学生に気軽に芸術に親しむ機会を提供するため、工芸作品の制作体験や美術館展示作品鑑賞などを実施しています。
	コトニジャズ	区民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、にぎわいを生み出し地域を活性化するため、人通りの多い地下鉄琴似駅コンコースや大規模ホールを利用した拡大版のコンサートを開催。無料で本格的なジャズの生演奏を鑑賞できる場を提供しています。
	コトニクラシック	区民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、にぎわいを生み出し地域を活性化するため、民間商業施設や大規模ホールを利用した拡大版のコンサートを開催。無料で本格的なクラシックの生演奏を鑑賞できる場を提供しています。
	にしく♪ちびっこミュージックプロムナード	文化芸術を生かしたまちづくりをさらに推進していくため、早い段階から音楽に親しみをもってもらうこと、そして子育て世代の区政への理解・参加のきっかけづくりを狙いとし、未就学の子どもとその保護者を対象にしたコンサートを実施しています。
	ていね音楽祭	「ていね音楽祭」は音楽を通じて地域の文化・芸術活動の振興を図ることを目的に手稲区で音楽活動をしている個人・団体が出演する音楽祭を実施しています。
3	文化芸術などを通じた都市間の連携による取組の推進	創造都市ネットワーク加盟都市、交流協定締結都市、北海道や道内他市町村等との文化芸術や観光などを通じた継続的な交流により、相互の都市の魅力向上を図っています。
	浜松市	浜松市と「音楽文化都市交流宣言」を締結し、浜松市と本市の子ども達が、演奏会で合同演奏を行うなどの交流事業を行っています。引き続き、音楽を通じた都市間交流により、札幌市の魅力を発信していきます。
	道内他市町村との連携	道内他都市において小中学生向けのジャズワークショップや、PMFの演奏会を開催するほか、近隣市町村の小学校6年生をKitaraファースト・コンサートに招待するなど、北海道全体の魅力の向上につながる取組を行っています。
4	教育機関等との連携	美術鑑賞、制作体験、音楽鑑賞等を通して子どもの感性を磨き、豊かな情操を育む取組を行うとともに、その効果を一層高めるため、事前・事後に行う学習との連携を十分に図ります。
5	カラフルブレイン 札幌 2023 【再掲】	発達障がいがある方たちの作品展示とインタビュー、パネル展、パンフレットの配布等を通じて、発達障がいの普及啓発・理解促進を図っています。
6	札幌市身体障害者福祉センター指定管理事業・教養講習会・文化活動育成事業 【再掲】	身体に障がいのある方々に対し、その能力や適性に応じた事業（創作的活動や芸術・文化等に関する教養講習会、自主的に文化活動を行うクラブ・サークルの活動を育成するための助成）を行うことで、障がい者の社会参加の促進を図っています。
7	札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金 【再掲】	視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内で視聴覚障がい者が自主的に運営する非営利のサークル・団体等の活動に要する経費の一部を助しています。

施策４－２ アーティスト支援の充実（文化芸術の領域拡大）		
1	集客力の向上を図る 情報発信支援	札幌文化交流センターSCARTS で、市民が気軽に立ち寄り、文化芸術に関する情報の収集・発信ができる場を提供するとともに、ウェブサイトを活用した様々な情報発信に取り組んでいます。 また、公式観光情報サイト「ようこそさっぽろ」を活用し、観光情報と併せて文化芸術情報を発信するなど、市民や観光客にとって魅力的な情報発信を行っています。
2	SCARTS 助成	札幌文化芸術交流センターSCARTS を実施主体とし、札幌市を拠点に活動する団体又は個人による優れた文化芸術活動に対し、その費用の一部を支援しています。
3	SCARTS での アーティストへの 対面相談の実施	アーティストや文化団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスをしています。
4	発表の場の提供・ 表彰制度の実施	音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野で市民の創造・発表活動を積極的に推進する市民芸術祭を開催するほか、若手を含むアーティストの育成、チャレンジやステップアップに資する顕彰制度を実施しています。
	本郷新記念 札幌芸術賞	若手芸術家の育成を目的とした本郷新記念札幌記念彫刻賞を行っています。
	500m美術館	地元作家の発表の場とするとともに、毎年公募展を実施しチャレンジやステップアップの場を提供しています。 なお、令和５年度行政評価において、「本美術館のあるべき姿や目的を、市民に理解いただけるよう再設計した上で、その目的に即した施設用途となるよう、施設の在り方や予算の執行手法について見直しを検討するべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
	市民芸術祭	昭和 22 年の「市民美術展」を発端として、現在では、音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野で実施しており、近年は、発表者・鑑賞者を含め毎年 3 万人近い市民が参加しています。 市民の創造・発表活動を積極的に推進するため、顕彰制度を設け、市民にとってはステップアップの機会ともなっています。
5	アイヌ工芸品の 販売やアイヌ文化の ブランド化推進	札幌駅前通地下歩行空間等におけるアイヌ工芸品の販売会の開催などにより、アイヌ工芸品の販売機会の確保やアイヌ文化のブランド化に取り組んでいます。
6	各種イベントにおける 海外アーティストの 招へい	世界中のアーティストから刺激を受け、札幌のアートがレベルアップできる環境を目指しています。
	PMF (パシフィック・ ミュージック・ フェスティバル 札幌)	世界三大教育音楽祭の一つとされる PMF においては、世界の若手音楽家や教授陣を招へいし、世界トップクラスの演奏を鑑賞できる機会を提供するとともに、市内アーティストも共に学ぶ場を提供しています。
	サッポロ・ シティ・ジャズ	国内外の一流のジャズプレイヤーによる演奏を鑑賞できる公演を実施しています。
	札幌 コンサートホール (Kitara)	国内外の魅力的な演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供する事業を実施しています。また、札幌市が締結した音楽文化協定等による交流都市との各事業についても実施しています。
	札幌国際芸術祭 (SIAF)	既存の枠組に捉われず、時代の変化や技術革新、社会課題を踏まえながら新しい表現に挑戦をしている現代アートやメディアアートの分野において、世界で活躍するアーティストの作品に触れる機会を創出します。

施策4-2 アーティスト支援の充実（文化芸術の領域拡大）

7	さっぽろ天神山 アートスタジオ 【再掲】	アーティスト・イン・レジデンスの拠点として、市内及び国内外の個人・団体とのネットワークを構築し、アーティスト等創造的活動を行う人の滞在型制作活動を誘致し支援しています。アーティストの有意義な活動の実現と市民が新しい思考や感性を自ら育むことを目指し、アーティスト等の市内での滞在と制作段階を含む創造活動全般において市民との多様な交流を創出しています。なお、令和5年度行政評価において、「市民がメリットをより享受できる仕組みや施設の在り方も含めた見直しを検討すべき」と指摘されていることから、これを踏まえた検討も行います。
---	----------------------------	---